

夏休み合同子ども会

安藤聖一人形説き

去る八月一日、蔵本通支坊
で、安楽寺、西岸寺
明円寺、西教寺で、夏休み合
子ども会を行いました。

受付がすんだ子は、かき氷
食べ放題。みんな何杯もおか
わりして、色んなシロップを試
していました。



青木くんはイチゴ

おつとめの後、ご法話のかわ
りに人形劇を見ました。

今年は、NHKの人形劇でこ
活躍の安藤聖さんにおこしい
いただきました。写真下は有名
な仏教説話「ハトとタカ」。

タカに追われて一羽のハト
が、慈悲深い王さまのところ
へ逃げてきます。王さまはハ
トを殺さないようにタカを諫
めませんが、それではタカが飢



意を決した王さまが秤に乗るところ。安藤さんも梵天役で登場。

え死にしてしまうことを知り
ます。そこで王さまは、タカ
のためにハトと同じ重さの
肉、それも自分の身体の肉を
切つて与えることにします。
しかし、足を切り取り、腕を
切り取つても秤は、びくとも
動きません。はつと気づいた

王さまは、自分ごと秤に乗っ
てみます。すると、秤はゆつ
くりと動き、ぴたっと釣り合
う、という話です。ハトの生
命の代わりをしようとする王
さまですが、そこで初めてハ
トの生命の本当の重さを知る
わけです。ハトを救えばタカ

が死に、タカを救うには自分
が死ぬしかない、自分が生き
残るためにはハトを殺すか、
それともタカを殺すか、きれ
い事ではすまされない生命の
実相が描かれています。この
問題、皆さんならお子さんや
お孫さんにご教えますか？
その後は、長岡（西岸寺）
先生によるゲーム。2チー
ムに分かれて競争。ヨー
イドンで各チームから選
出した審判のところまで
走つていき「よろしくお
願ひします」と手をつい
てあいさつ。審判とじゃ
んけんして勝つたら、走っ
て帰つて次にバトンタッ
チ。最初のあいさつがちゃ
んとできなかったら、審
判に「帰れ！」と言われ
スタートにもどつて同じ
チームの仲間にごめん
なさい」と土下座しても

う二度。

私は、「これはただの子ども
の遊びではなくて、私たち大
人の社会にこそ大切なことだ
なあと感ずきました。テレビゲ
ームばかりしては分らない、
身につかないことですね。
楽しく遊びながら、大切な
ことを学んだ一日でした。

楽しそうにゲームをする
子どもらと長岡さん